

試合規定

◆組手

勝敗の基準は一本勝ち、判定勝ち、相手の反則による失格及び試合放棄による勝ちにより決定する。

1. 一本勝ち（技有り2本で一本）

*反則箇所を除いて突き、蹴り等を瞬間に決め相手を3秒以上でダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。

2. 技有り

*技が決まり相手の体が瞬間に崩れた場合、又は戦意を失った場合。

外廻し蹴りは、相手が転倒した場合、大きく体勢を崩した場合のみ有効とする。

※足が触れた程度、肩に足が残った蹴りは認めない。

※倒れ込みながらの上段廻しは、認めない。

3. 判定勝ち

*判定時間内に一本勝ちで決まらない時は双方の技術、気迫の優劣、減点の多少等により決定する。

*判定は旗が過半数以上あがれば勝ちとする。

◆反則

1. 拳、肘、貫手、頭突きによる首、顔面への攻撃。

2. ダウンした相手への攻撃。

3. 金的蹴り。

4. 相手の道衣を掴んでの攻撃（瞬間的な引っ掛けも反則とする）。

5. 相手を押しての攻撃。

6. 場外へ逃げた時。但し、これは主審に委ねる。

7. 反則は注意2回減点1、3回で失格とする。

8. 審判員判断により特に悪質な試合態度とみなされた時は、即座に反則負けとなる。

9. 減点1と技有りは相殺するが同等ではない。

10. 選手側の応援者が、相手側の選手に中傷又は罵声を浴びせたりした場合、その応援側の選手は、減点又は反則負けとする。

※全階級、顔面への膝の攻撃は禁止と致します。

◆失格

1. 注意を3回重ねたとき。

2. 試合中審判員の指示に従わないとき。

3. 自分の順番が回ってきたとき、各コーナーに控えてないとき。

4. 装着義務防具を着用していないとき。

◆選手 厳守事項

1. 清潔な空手衣を着用し、手足の爪を短く切ること。

2. 初級、復活の部のクラス選手は拳サポーター・レッグガードを着用すること。

3. 全男子選手は、ファールカップの着用を義務付けとする。

※ヘッドギアの着用は任意と致します。

(防具は各自用意のこと)